

2019 年 10 月 27 日 (日)

スーパーフォーミュラ 第 7 戦 決勝

鈴鹿サーキット

決勝結果

#64 : 19 位

#65 : 13 位

決勝概要

- ・ ポールポジションスタートのパロウはチャンピオンが懸かった一戦
- ・ ミディアムタイヤでスタートを切ったが、ソフトタイヤに交換後ペースが上がらず大きくポジションを落とす結果となり 19 位フィニッシュ
- ・ 8 番手スタートの牧野もソフトタイヤのペースが上がらず苦しいレースとなり、13 位フィニッシュ
- ・ パロウはルーキー・オブ・ザ・イヤーを獲得

コメント

総監督：中嶋 悟

「予選まではうまくいっていたのですが…。決勝はソフトタイヤのバランスが悪かったようで、つらいレースになってしまいました。残念ですが、来年に向けてまた頑張っていきたいと思います。今シーズンもたくさんのご声援をありがとうございました」

64 : アレックス・パロウ

「The strategy was really good and our pace was good in the beginning, but

then we had some problem and I could not make a good pace. I was really confident and hungry to win this championship because the team did amazing work this year and they deserve it. Still I am happy and proud about this year because I finished third in the championship, was the first rookie to win the race and had three poles. We will go for win next year.

「戦略はとても良く、ペースも最初は良かったのですが、それから問題が出て良いペースを出せませんでした。チームは1年を通して優勝に値する素晴らしい仕事をしてくれましたので、優勝する自信はありましたしハングリーでした。それでも今年は選手権3位で、優勝した最初のルーキーでしたし、ポールを3回取ることができたので、嬉しいし自慢に思っています。来年もチャンピオンを目指して頑張ります」

#65 : 牧野 任祐

「上位陣とは反対のスタートタイヤを選択し予定通りのピットストップを行ないましたが、開幕戦と比べて今回はかなり厳しいレースになってしまいました。1年間戦ってきて色々経験して、流れが大事だという事を改めて思いました。1年間有難うございました」

※今シーズンのたくさんのご声援をありがとうございました。